

## 東京工科大学

入試の  
お問い合わせ

広報課

〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1

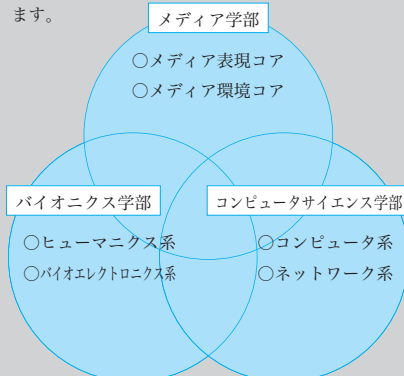
☎0426-37-2119

資料請求

	願書	パンフ
完成時期	10月上旬	配布中
料金	無料	無料
発送サービス	トップ ハガキ	5

## インフォメーション

●東京工科大学の先進性を象徴するのが、メディア学部、バイオニクス学部、コンピュータサイエンス学部からなる独自の学部体制です。21世紀の鍵を握る、この3つの注目分野を総合的に学ぶことができるのは本学だけです。また本学の3学部は、いずれもあえて学科やコースを設けず、自由に科目選択できるよう配慮しており、高度な知識と最先端技術を習得することができます。



●大学入試センター試験利用試験に、2教科型と3教科型を導入しています(併願可)。2教科型は、センター試験を2教科・2科目以上受験した者(2教科・3科目以上受験した場合は高得点の2教科・2科目を合否判定に使用)。3教科型は、3教科・3科目以上受験した者(3教科・4科目以上受験した場合は高得点の3教科・3科目を合否判定に使用)が出願できます。



## 2006年度推薦入試

■自己推薦(高等学校長の推薦書不要)

●募集人員

メディア20人 バイオニクス20人 コンピュータサイエンス20人

●出願資格

次の☑~☒のいずれかに該当し、それを客観的に証明できる現役・既卒 専願

☑外国語、情報処理等の分野において高度な資格および優れた能力を有する者

☑高等学校もしくは中等教育学校後期課程において、生徒会・学園祭などで役員として優れた能力を発揮した者

☑コンクール・大会などでの入賞者など文化・芸術・スポーツ活動で優れた実績のある者

☑高等学校もしくは中等教育学校後期課程において、履修した教科の中に少なくとも1教科優れた学業成績を修めた者(教科の指定はない)。

●選抜方法

メディア:書類審査、面接および小論文(60分) バイオ

## 情報入手方法

☑ホームページ <http://www.teu.ac.jp/>

☑モバイル <http://kam.teu.ac.jp/>

☑Eメール [pr@so.teu.ac.jp](mailto:pr@so.teu.ac.jp)

## オープンキャンパス

7/17☑、7/18☑、9/23☑、10/30☑ 10:00~16:00

学部説明、入試説明、模擬授業・実験、施設見学、キャンパスランチ、キャンパスツアー、資料配布他  
キャンパス見学

日曜・祝日を除く毎日9:00~17:00にキャンパス見学を随時実施しています。施設・設備見学や進路相談なども可能です。事前に電話などで連絡の上、キャンパスまでお越しください。

## 学費・奨学金制度

☑初年度納入金(2006年度)

メディア学部 1,569,200円

バイオニクス学部 1,619,900円

コンピュータサイエンス学部 1,569,900円

☑スカラシップ制度

成績上位合格者に年額120万円を4年間給付します。返還の義務なし。

〈一般入試A日程〉

メディア18位まで、バイオニクス15位まで、  
コンピュータサイエンス15位まで

〈一般B入試日程〉

メディア2位まで、バイオニクス2位まで、  
コンピュータサイエンス2位まで

〈センター利用試験〉

メディア7位まで、バイオニクス7位まで、  
コンピュータサイエンス7位まで

☑成績優秀学生表彰制度

毎年、成績優秀者に対し、40万円を支給する独自の奨学金制度です。

※詳細はお問い合わせください

**就職指導** 本学では学内に就職委員会を設置し、あわせて各学部ごとに就職担当教員を置いて、進路と就職をきめ細かくバックアップしています。3年次の夏から本格的な支援が始まり、企業の人事担当者を招いての講演会や、就職模擬試験を実施。個別対応として模擬面接や履歴書添削、相談会など、個人の希望や意識に合わせた支援も並行して行っています。

**メディア学部就職状況** 情報処理サービス業(40.5%)、  
商社・販売業(10.7%)、映像・音声・配給業(8.5%)、  
ゲームソフト・インターネット付随サービス業(5.7%)  
ほか。(他学部では2003年新設のため就職実績なし)

ニクス・コンピュータサイエンス:書類審査、面接および基礎理解力テスト「数学・英語」(90分)

●日程 出願11/2~11/9 試験日11/20 合格発表11/25

## 2006年度一般入試教科・科目・日程

学部・方式		募集人員	入試教科・科目 (配点)	出願期間	試験日	合格発表	
一般	メディア	A日程	150	◎数学:数学ⅠⅡA B(数列・ベクトル)、◎英語:英語ⅠⅡ、◎国語:国語総合(現代文のみ)・国語表現Ⅰ(現代文のみ)・現代文 ○以上3教科から2教科選択	1/6~1/27	2/7・8・9	2/15
		B日程	60		2/13~2/24	3/3	3/10
	バイオニクス	A日程	130	◎数学:数学ⅠⅡA B(数列・ベクトル)、◎英語:英語ⅠⅡ、◎理科:物理ⅠⅡ(「力と運動」「電気と磁気」及び「物質と原子」のうち「原子、分子の運動」)・化学ⅠⅡ・生物ⅠⅡから1科目 ○以上3教科から2教科選択	1/6~1/27	2/11・12・13	2/18
		B日程	40		2/13~2/24	3/4	3/11
	コンピュータサイエンス	A日程	130		1/6~1/27	2/9・10・11	2/17
		B日程	40		2/13~2/24	3/5	3/11
センター	メディア	60	国語(国語)、地理・歴史(世界史A・世界史B・日本史A・日本史B・地理A・地理Bから1科目)、公民(現代社会・倫理・政治経済から1科目)、数学(数学Ⅰ・数学ⅡA・数学Ⅲ・数学ⅣB・工業数理基礎・簿記会計・情報関係基礎から1科目)、理科(物理ⅠⅡ・地学ⅠⅡ・理科総合A・化学ⅠⅡ・理科総合B・生物ⅠⅡから1科目)、外国語(英語)から(2教科型):2教科2科目以上を選択、<3教科	1/6~1/20	個別試験は課さない	2/11	
	バイオニクス	60					
	コンピュータサイエンス	60					

※2006年度入試の詳細は必ず募集要項でご確認ください

## 2005年度入試結果

学部・方式		志願者数	受験者数	合格者数	競争率
メディア	A日程	1,846	1,649	338	4.9
	B日程	472	445	77	5.8
	センター2教科型	1,269	1,268	347	3.7
	センター3教科型				
バイオニクス	A日程	1,189	1,019	187	5.4
	B日程	373	346	155	2.2
	センター2教科型	1,013	1,013	372	2.7
	センター3教科型				
コンピュータサイエンス	A日程	1,267	1,046	194	5.4
	B日程	338	304	141	2.2
	センター2教科型	990	989	304	3.3
	センター3教科型				

## TOPICS

**片柳研究所** 2003年春に完成した「東京工科大学の頭脳」ともいえる片柳研究所は、地上16階地下2階、延べ床面積46,000平方メートルのビッグスケールを誇ります。効率的に授業を行える教室のほか、最新の実験施設があります。また、ここを拠点に活動する研究組織は、バイオナノテクセンター、コンテンツテクノロジーセンター、産学官共同研究センター、eキャンパス・eラーニングセンター、先端ITセンター、CoQ10プロジェクト、医用工学プロジェクト、先端フォトニクスラボ、クリエイティブラボなどがあります。この中には、公的研究機関との共同研究も含まれており、国内では初めて、私立大学が公的研究機関を誘致したことで話題になりました。

**バイオナノテクセンター** 現在、先端技術分野の中で最も大きな注目を集めているバイオテクノロジーとナノテクノロジーは、互いに密接な関係にあります。この両者を融合したバイオナノテクノロジーは、21世紀社会に不可欠

な新しい基盤技術であり、その研究の推進は産学官共通の最重要課題のひとつになっています。しかし、バイオナノテクノロジーを包括的かつ統合的に扱い、研究・開発を支援する施設は、わが国はもとより、この分野の先進国とされるアメリカにもほとんど存在していませんでした。そこで本学では、時代の要請に応える新しい研究拠点として、「バイオナノテクセンター」を本学片柳研究所内に開設しました。他大学に類を見ないこの先駆的施設には、世界最高水準の新鋭機器が用意されています。

**充実したネットワーク環境** 東京工科大学は「情報ネットワーク環境が整っている大学」として高く評価されています。急速に進展している情報社会の中で活躍する人材には、情報ネットワークを理解し活用する地球規模のコミュニケーション能力と、情報をクリエイティブに発信するプレゼンテーション能力が不可欠。これらの能力が学生が身につけられるように、設備・教育・環

境の全ての面で、最も進んだサイバーキャンパスの実現をめざして、メディアセンターを中心として、全学情報基盤の構築を進めています。学生はノートパソコンが必携になります。学生に対してノートパソコンを学内で貸出し、購入・故障修理する事が可能です。自由にネットワークにアクセスすることができ、授業やプライベートで有効に活用されています。

**大学院: バイオ・情報メディア研究科** 2005年4月、これまでの工学研究科、メディア学研究科を改組し、新たに「バイオ・情報メディア研究科」を開設しました。学生が東京工科大学で取り組んだ学問研究を発展・深化させることができるよう、博士前期(修士)・博士後期の両課程に大学の3学部に対応した専攻を設置。さらに博士前期(修士)課程には、「高度な技術及び財務スキルを備えた革新的企業家」の育成を目指す「アントレプレナー専攻」を開設。進歩的な教育・研究にふさわしい先駆的体制をベースに活動を展開します。